

資 料

芦生研究林を基産地 (Type locality) とする動植物

渡辺 弘之*

Animals and plants described from the Ashu Research Forest
of Kyoto University as type locality (new species)

Hiroyuki WATANABE*

貴重なブナ林が残されている芦生研究林からは植物ではアシウスギ (アシオスギ), アシウアザミ, アシウテンナンショウが, キノコではツバフウセンタケモドキが新種・新変種として記載され, 動物ではクモ類 16 種, 甲殻類等脚目 2 種, 昆虫類ではコメツキムシ 11 種など 34 種, ササラダニ類で 2 種など合計で少なくとも, 58 種もの新種が記載されている。芦生からこのようにたくさんの新種が記載されていることは, 貴重な天然林が残されてきたこと, 研究者による調査が行われてきたことによるが, このことによっても, 芦生研究林の自然研究の場としての価値はさらに上がる。

キーワード: 芦生研究林, 新種, 基産地

The Ashu research forest of Kyoto University located at Ashu, Miyamacho, Nantan city is well-known as area where natural forest mainly composed of beech is conserved. From this forest, three plants, *Cryptomeria japonica* var. *radicans*, *Cirsium ashuense* and *Arisaema ovale*, and one mushroom *Cortinarius subarmillatus* have been described as new species or new variety. In addition, at least about 58 new species of animals including 16 spiders, 2 isopods, 34 insects and 2 species of acari have been described as new species. This fact raised this area's scientific reputation.

Key words: Ashu research forest, New species, Type locality

はじめに

宮津と舞鶴の間で日本海に注ぐ由良川の源流, 京都府南丹市美山町芦生 (元北桑田郡知井村) にある京都大学芦生研究林はこの源流域に約 4,200 ha の面積をもち, 北は杉尾峠 (744 m), 三国峠 (776 m) につながる尾根で福井県大飯郡おおい町, 東は三国岳 (959 m), 天狗峠 (920 m) につながる尾根で滋賀県高島市朽木・京都市左京区久多, 南は小野村割岳 (932 m) から佐々里峠 (833 m) につながる尾根で京都市左京区広河原と接し, 西は田歌山からヒツクラ谷で美山町田歌に接する。この中にブナノキ峠 (939 m), 傘峠 (935 m), 八畝山 (874 m) の尾根が横たわる。由良川はこの中を「コ」の字のように曲がって流れ, 西南の隅から流れ出す。三国峠が若狭・丹波・近江の境, 三国岳が近江・丹波・山城の境で, 京都府下第 3 位の標高である。

地形は丹波高原の一部として全体として準平原状をなし, 標高もほぼ同じであるが, 谷は急峻で至るところに絶壁・滝がある。地形はきわめて複雑である。逆に, 登山者には知られた地域で, 森本次男「京都北山と丹波高

原」(1938, 1965), 住友山岳会「近畿の山と谷」(1941), 金久昌業「京都北山」(1970) など由良川源流域の週行ルートが紹介された。同時に, 渓谷のすばらしさも評価され, 今西錦司・井上靖 (監修)「日本の湖沼と渓谷 10 近畿」(1987) でも紹介された。

研究林事務所のある芦生 (標高 355 m) での観測では年平均気温は 11.7 °C, 年平均降水量は 2,353 mm, 最低気温はマイナス 19.5 °C, 最深積雪量は 190 cm が記録され, 最上流部にある長治谷作業所 (標高 640 m) では最深積雪 315 cm が記録されている。地質は中・古生層の丹波帯に属し, 基岩は頁岩を主としチャートや砂岩を含んでいるとされる。

1921 年 (大正 10 年), 京都大学は旧知井村九ヶ字共有林の一部, 約 4,200 ha を森林・林業の学術研究・実地演習を目的に 99 年間の地上権設定により租借した。農学部 (1923 年) 以前に地上権設定がなされていたことから, 農学部設置のための財産林としての性格をもっていたことがわかる。1924 年, 農学部附属演習林の発足に伴い芦生演習林となり, 主として林学科の研究教育, とくに実習のために利用された。2003 年,

* 京都大学名誉教授 606-0034 京都市左京区岩倉村松町 64-2

* Professor Emeritus of Kyoto University 64-2, Iwakura-Muramatsu, Sakyo-ku, Kyoto, 606-0034

組織改組により京都大学フィールド科学教育研究センター森林ステーション芦生研究林となった。

貴重なブナ林が残され、植物相の豊富なところとして知られ、その多様な植物相に支えられて、たくさんの動物の新種がこの芦生から記載されている。芦生を基産地 (Type locality) とする種にどんなものがあるか、興味をもって調べてみたところ、クモ類 16 種、甲殻類 2 種、昆虫類ではコメツキムシ 11 種、カミキリムシ 2 種など、58 種もの新種が記載されていることを知った。

芦生からこのようにたくさんの新種が記載されていること、生物多様性ホットスポットであることを知っていただきたい。それは今後の芦生研究林の利用にも参考になるはずである。

植生・植物相

研究林内の植生は標高 600 m で大きく変わる。600 m 以下ではウラジロガシ、ツクバネガシに、イヌブナ、テツカエデなどがまじり、600 m 以上では谷部・溪流沿いにはトチノキ、サワグルミを主にカツラ、チドリノキなどが混じり、斜面下部はブナ、ミズナラ、ミズメが優占し、斜面上部・尾根部ではスギ、リョウブ、ソヨゴ、ネジキ、クロソヨゴなどが優占する。芦生の植生は (1)「ブナ-チシマザサ群集、a ホンシャクナゲ亜群集、b アセビ亜群集」、(2)「ブナ-クロモジ群集」、(3)「トチノキ-ジュウモンジシダ群集」、(4)「ツガ-クロソヨゴ群集」、(5)「ウラジロガシ-ヒメアオキ群集」に区分している。

東京帝国大学理学部教授でのに国立科学博物館長をされた中井猛之進は「植物研究雑誌」17 巻 5 号 (1941) に当時の芦生演習林を視察して「植物ヲ学ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ」と紹介し、竹内敬は「京都府植物誌」(1962) で芦生での植物採集記を書かれ、京都府下ではここにしかない植物がたくさんあることを述べた。

芦生研究林の植物の種数については、岡本省吾「芦生演習林樹木誌」(京都大学演習林報告 13 号) (1940) では木本植物 238 種、双子葉植物の草本 350 種、単子葉植物草本 164 種シダ植物 85 種を加え 837 種を記録している。渡辺弘之は「京都の秘境 芦生」(増補版) (1976) ではその後確認されたものを加え、882 種とした。Yasuda, S. & E. Nagamasu (安田佐知子・永益英敏 1995) はこれまでの記録を検証、さらに保存されている標本を調べて研究林内の植物の種数を針葉樹 11 種、単子葉植物 190 種、双子葉植物 600 種、計 801 種、7 亜種、12 型とした。

植物としては、この芦生からアシウスギ(アシオスギ)、

アシウテンナンショウ、アシウアザミが新種・新変種として記載され、ゼンテイカ (ニッコウキスゲ)、ツリシスラン、モミジチャルメルソウなど分布上、貴重なものがたくさんある。「京都府レッドデータブック 野生生物編」(2002) では掲載された野生生物種 (亜種・変種を含む) は動物 722 種、植物 802 種、菌類 72 種とし、そのカテゴリーは絶滅種 100 種、絶滅寸前種 393 種、絶滅危惧種 415 種、準絶滅危惧種 353 種、要注意種 335 種となっている。京都府下では芦生にだけ分布が確認されていたものの、その後、記録されず、絶滅したと考えられる絶滅種がコマルクビゴミムシ、ルリカミキリモドキ、ニセハムシハナカミキリ、ブチヒゲハナカミキリ、アサカミキリの 5 種ある。絶滅寸前種はミズラモグラ、クロホオヒゲコウモリなど 5 種、鳥類はイヌワシ、ブッポウソウなど 4 種、昆虫類では 23 種、コケ類 14 種、シダ類 3 種、種子植物 14 種など 63 種があげられている。少なくとも、絶滅危惧種になれば 87 種が、準絶滅危惧種になれば 79 種が芦生に分布・生息する。京都府下では芦生にしか分布・生息しないものがたくさんあるということ、生物多様性のホットスポットであることが理解できる (渡辺 2008)。

この豊かな自然が認められ朝日新聞社・森林文化協会から「日本の自然 100 選」(1983) に、京都府の「京都府の自然 200 選」に選ばれ、日本昆虫学会 (2000) では「昆虫類の多様性保護のための重要地域」の一つに指定した。先の京都府レッドデータブック (2002) では「地域生態系保存地域」として指定している。

この森林を一般向けに紹介したものに、全国大学演習林協議会 (編)「森へゆこう、大学の森のいざない」、池内紀「日本の森を歩く」、日本の森制作委員会 (編)「日本の森ガイド 50 選」、福岡司「いつまでも残しておきたい日本の森」、草川啓三「芦生の森を歩く」、「芦生の森に会いにゆく」、石橋睦美「日本の森 西日本編」、DVD では谷口正一「芦生原生林」などがあり、北本廣次「樹木彩時季」、桂俊夫「京・北山四季賛歌」、広瀬慎也「芦生の森」、「芦生の森 2」、「由良川源流の森 芦生風刻」、山本卓蔵「芦生の森」などのすばらしい写真集がある。毎日新聞社 (編)「日本の秘境」(1961)、日本交通公社「全国秘境ガイド」(1967) で紹介されたところでもある。

芦生を基産地 (Type locality) として 新種記載された動植物

新種として学名の基準に指定された標本 (タイプ標本) のうち、学名の基準となる単一の標本を正模式 (正基準)

標本 (Holotype) といい, 正模式標本とちがう性の標本を別模式標本 (Allotype) という. 一つを正模式標本と指定した場合, 残りの標本は副模式 (従基準) 標本 (Paratype) とされる. 新種記載時に命名者が複数の標本を使用し, 正模式標本を指定しなかった場合, そのすべてを等価基準標本 (Syntype) という. タイプ標本とされるものもこのように区別される.

芦生から新種記載された標本にも正模式標本 (Holotype), 別模式標本 (Allotype), 副模式標本 (Paratype), 等価基準標本 (Syntype) があるが, いずれも貴重な標本であり, 博物館などに保存されている.

植物

アシウスギ (アシオスギ) *Cryptomeria japonica* D. Don
var. *radicans* Nakai, 1941

中井猛之進: 植物ヲ学ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ

植物研究雑誌 17, 5, (1941)

アシウアザミ *Cirsium ashuense* Yokoyama, S. et T. Shimizu, 1996

Holotypes, Isotypes Ashiu, 5.XI.1993, Yamashita, M., S. Yokoyama et T. Shimizu (採集 山下水緒・横山俊一・清水建美)

アシウテンナンショウ *Arisaema ovale* Nakai, 1935
Ashio, 15.V. 1933, S.Okamoto (採集 岡本省吾)

キノコ類

フウセンタケ科

ツバフウセンタケモドキ *Cortinarius subarmillatus*
Hongo, 1964

Ashiu, Miyama-cho, 28.IX.1963, T. Hongo (採集 本郷次雄)

動物

クモ綱

ナラヌカグモ *Parhypomma naraense* (Oi, 1960) (= *Mithoplastoides naraensis*)

Holotype ♂, allotype ♀, Paratypes many ♂ ♀, Ashifu, 31.V., -1.VI. 1958, R. Oi (採集 大井良次)

ズキンヌカグモ *Gongylidioides cucullatus* Oi, 1960

Holotype ♂, Allotype ♀, Paratypes, many ♂ ♀, Ashifu, 31.V.-1.VI. 1958, R.Oi (採集 大井良次)

ホソテゴマグモ *Pseudomicargus acuitegulus* (Oi, 1960) (= *Micrargus acuitegulus*)

Holotype ♂, Allotype ♀, Ashifu, 12.X.1958, R.Oi (採集 大井良次)

ノコバヤセサラグモ (ノコバヤセグモ) *Lepthyphantes serratus* Oi, 1960

Holotype ♂, 2 ♂ subadult, Ashifu, 11.X.1958, R.Oi (採集 大井良次)

ヤセサラグモ *Lepthyphantes japonicus* Oi, 1960

Holotype ♀, Allotype ♂, Ashifu, 11-12.X.1958, R.Oi (採集 大井良次)

アシュウヤミサラグモ *Arcuphantes ashifuensis* (Oi, 1960) (= *Fusciphantes ashifuensis*)

Holotype ♂, Paratype ♀, 2 unadult ♂, Ashifu, 11-12.X.1958, R.Oi (採集 大井良次)

クロテナガグモ *Bathypantes robustus* Oi, 1960

Holotype ♀, Allotype ♂, Ashifu, 31.V.1958, R.Oi (採集 大井良次)

コケシグモ *Nippononeta minuta* (Oi, 1960) (= *Meioneta minuta*)

Holotype ♀, Ashifu, 11.X. 1958, Paratype 1 ♀, Ashifu, 1.VI.1958, R.Oi (採集 大井良次)

ムネグロサラグ *Nerienne nigripectoris* (Oi, 1960) (= *Neolinyphia nigripectoris*)

Holotype ♀, Allotype ♂, Ashifu, 9. VIII. 1958, R.Oi (採集 大井良次)

ヤガスリサラグモ *Nerienne albolimbata* (Karsch, 1878) (= *Linyphia pennata*)

Holotype ♀, Ashifu, 31.V. 1958, Paratypes 7 ♀, 1 subadult, Ashifu, 9.VIII. 1958, R.Oi (採集 大井良次)

シバサラグモ *Nerienne herbosa* (Oi, 1960) (= *Linyphia herbosa*)

Syntypes 5 ♀ ♀, Ashifu, 1.VI.1958, R.Oi (採集 大井良次)

コシロブチサラグモ *Nerienne marginella* (Oi, 1960) (= *Prolinyphia marginella*)

Syntype 1 ♀, Ashifu 30.V.-1.VI.1959, R.Oi (採集 大井良次)

デーニッツサラグモ *Doenitzius peniculus* Oi, 1960

Paratypes, ♂ ♀, many, Ashifu, 12.X. 1958, 1 ♂, Ashifu, 9.VIII.1958, R.Oi (採集 大井良次)

ツリサラグモ *Nerienne japonica* (Oi, 1960) (= *Neolinyphia japonica*)

Paratypes ♀ ♂, Ashifu, 1. VI. 1958, R. Oi (採集 大井良次)

ハシグロナンキングモ *Neserigone nigriterminorum* (Oi, 1960) (= *Erigonidium nigriterminorum*)

Paratypes 3 ♂, 1 ♀, Ashifu, 31.V.-1.VI. 1958, R. Oi (採集 大井良次)

ザラアカムネグモ *Asperthorax communis* Oi, 1960

Paratypes 4 ♂, 2 ♀; Ashifu, 12. X. 1958, R. Oi (採集 大井良次)

甲殻類等脚 (ワラジムシ) 目

フナムシ科

ニホンチビヒメフナムシ *Ligidium paulum* Nunomura, 1976

Allotype 1 ♂, Paratype 9 ♂ ♂, Holotype ♀, Paratype 11 ♀ ♀, Ashu, IX, 1975, Jiro Tsukamoto (採集 塚本次郎)

トウヨウワラジムシ科

アシュウハヤシワラジムシ *Lucasioides ashuiensis* Nunomura, 2010

Holotype ♀, Paratype ♀, Ashu, 31.VII, 2009, Allotype ♂, Paratype ♀, 26. V, 2009, H. Watanabe (採集 渡辺弘之)

昆虫

膜翅 (ハチ) 目

ハバチ科

クチナガハバチ *Nipponorhynchus mirabilis* Takeuchi, 1941

Holotype ♀, Allotype ♂, Paratypes 1 ♀, 1 ♂, Ashiu, 21.IV.1940, K. Takeuchi (採集 竹内吉蔵)

鞘翅 (コウチュウ) 目

コメツキムシ科

アシウアカコメツキ *Ampedus (Ampedus) ashuiensis* Kishii, 1976

Holotype ♂, Ashiu, 18-19.V. 1974, K. Mizuno (水野弘造); Allotype, ♀, Ashiu, 27. V.1972, Paratypes, 2 ♂ ♂, 3 ♀ ♀, Ashiu, V.-VI. 1974 & 1975, K. Mizuno (採集 水野弘造)

タンバコクロコメツキ *Ampedus (Ampedus) tamba* Kishii, 1976

Holotype ♂, Ashiu, 18-19. V. 1974, K. Mizuno (採集 水野弘造); Allotype, ♀, Ashiu, 18-19, V. 1974, K. Mizuno (採集 水野弘造)

ヒゲナガクロコメツキ *Ampedus (Ampedus) aureopilosus*, Kishii 1988

Holotype, ♂, Ashiu, 5-6. V. 1973, K. Mizuno (採集 水野弘造)

ヌバタマクロコメツキ *Ampedus (Ampedus) nubatama* Kishii, 1988

Paratypes 1 ♀, Ashiu, 28. V.1978, K. Mizuno (採集 水野弘造)

ミズノクロコメツキ *Ampedus (Ampedus) mizunoanus* Kishii, 1988

Holotype, ♂, Ashiu, 1-2. VI. 1974, K. Mizuno (採集 水野弘造)

オトメアカコメツキ *Ampedus (Ampedus) otome* Kishii, 1992

Paratypes ♂, Ashiu, 27.V. 1973 K. Mizuno, ♀, Ashiu, 4.VII.1951, T. Kishii (採集 岸井 尚)

ベッピンアカコメツキ *Ampedus (Ampedus) beppin* Kishii, 1992

Holotype ♀, Isotypes ♀ Ashiu, 28. V. 1978, K. Mizuno (採集 水野弘造), Paratypes ♀, Ashiu, 1-2.VI. 1974, K. Mizuno (採集 水野弘造)

オオアカアシアカコメツキ *Ampedus (Ampedus) ashiaka* Kishii, 1998

Holotype, ♂ Ashiu, 18.V. 1975, K. Mizuno (採集 水野弘造), Paratypes 1 ♀, Ashiu, 4.VII.1951, T. Kishii, (採集 岸井尚) 1 ♀ Ashiu, 4.VI.1977, K.

Mizuno (採集 水野弘造); 28.V.1978, K. Mizuno (採集 水野弘造); 1 ♀, 18.VI.1978, K. Mizuno (採集 水野弘造)

ホソアカツヤコメツキ *Scutellathous sasajii* Kishii, 2001

Paratypes 1 ♂, Ashiu, 11. VII. 1971, K. Tani (採集 谷幸三)

スオウコガネホソコメツキ *Sericus tanakai* Kishii, 2004

Paratype 1 ♂, Ashiu, 24.V. 2002, K. Mizuno (採集 水野弘造)

フタキボシカネコメツキ *Gambrinus kraatzi nihonicus* Kishii, 1966

Paratype 1 ♂, Sasari pass, 13. V. 1962, H. Nomura (採集 野村英世)

ホソカタムシ科

オカダユミセスジホソカタムシ *Lasconotus okadai* Aoki, 2011

Paratypes 2, Ashiu, 31.V. 2010, J. Aoki (採集 青木淳一)

カミキリムシ科

フトクスイモドキカミキリ *Asaperda silvicultrix* Toyoshima & Iwata, 1990

Paratype 1 ♀ Ashu 6.VII.1982, T. Sukenaga. 1 ♀, Ashu 26.V. 1974, S. Tsuyuki.

シラユキヒメハナカミキリ (ウスヨコモンヒメハナカミキリ) *Pidonia (Cryptopidonia) dealbata* Kuboki,

1981

Paratype, 1 ♂, 1 ♀, Ashiu, 30.V. 1971, T. Mizunuma (採集 水沼哲郎), 1 ♂ 1 ♀, Ashiu, 14.V.1971, Y. Inatani, 1 ♀, Ashiu, 21.V. 1972, T. Hatayama (採集 畑山武一郎)

ハナノミ科

ヒラサンヒメハナノミ *Falsomordellistena hirasana* Shiyake, 1996

Paratype 1 ♀, Ashu, 14.VII. 1970, T. Hatayama (採集 畑山武一郎) 1 ♂, 1 ♀, Ashu, 16.VII.1992, S. Shiyake (採集 初宿成彦)

ベニボタル科

ツヤバネベニボタル *Calochromus rubrovestitus* Nakane & Ohbayashi, 1955

Holotype ♂, Allotype ♀, Ashiu, 4. VI. 1951, T. Kishii (採集 岸井尚)

ホタル科

キンキスジグロボタル *Pristolycus sagulatus adachii* M.Satô, 1986

Paratype 1 ♀, Ashu, 8.VII. 1978, K. Masaki (採集 正木清)

ジョウカイボン科

クビボンジョウカイの1種 *Podabrus shiraisawanus* K. Takahashi & I. Kiriya, 2000

Paratype 1 ♂ Ashu, 4-5.V. 1987, K. Haga (採集 芳賀馨)

マツナガジョウカイ *Lycopcerus matsunagai* (Imasaka & Okushima, 2000) (= *Athemus matsunagai*)

Paratype 1 ♀, Ashiu, 6.VI. 1991, K. Masaki (採集 正木清)

ツツキノコムシ科

ケナガツツキノコムシ *Nipponocis longisetosus* Nobuchi, 1955

Paratype 1 ♂, Ashu, 29.IV. 1952, A. Nobuchi (採集 野淵輝)

ケマダラナガツツキノコムシ *Nipponocis magnus* Nobuchi, 1955

Cotypes 2 ♂♂, Ashu, 10& 14.V.1951, A. Nobuchi, 1 ♂, 2 ♀♀, Ashu, 6.VII. 1951, T.Kishii (採集 岸井尚)

アシュウナガツツキノコムシ (アシュウナガツツキノコム

シ) *Nipponocis ashuensis* Nobuchi, 1959

Cotypes 1 ♂, Ashu, 12.V.1951, A. Nobuchi, 2 ♂♂, 1 ♀, Ashu, 30.VI. & 4.VII.1951, T. Kishii (採集 岸井尚)

ハネカクシ科

Lordithon (Bolitobus) takashii Katayama & Ito, 2010

Paratype 1 ♀, Ashu, 6.VII, 1996, K.Masaki (採集 正木清)

キクイムシ科

アシュウキクイムシ *Trypodendron ashuensis* Murayama, 1950 (= *Xyloerus ashuensis*)

Syn types 2 ♂ 2 ♀, Ashu, 23, V.1940, T. Takeuchi (採集 竹内吉蔵)

アシュウザイノキクイムシ *Xyleborus ashuensis* Murayama, 1954

Holotypes 1 ♀, Ashu 21.VI.1953, J. Murayama (採集 村山醸造)

双翅 (ハエ) 目

ユスリカ科

ヤマヒメユスリカ *Zavrelimyia monticola* (Tokunaga, 1937) (= *Pentaneura monticola*)

Paratype ♂, Ashiu, 10.V.1936, M. Tokunaga (採集 徳永雅明)

クチキバエ科

ケナガクチキバエ *Clusiodes (Clusiodes) plumosus* Sasakawa, 1964

Holotype ♀, Paratype ♀, Ashiu, 7.VI.1964, M. Sasakawa (採集 笹川満廣)

ヤマトクチキバエ *Paraclusia japonica* Sasakawa, 1957

Holotype ♂, Ashiu, 6.V. 1952, M.Sasakawa (採集 笹川満廣) 芦生で採集の幼虫・蛹から羽化

ハモグリバエ科

ツルリンドウハモグリバエ *Chromatomyia crawfordiae* (Sasakawa, 1954) (= *Napomyza crawfordiae*)

Holotype ♂, Ashiu, 15.V.1952, Paratype ♂, Ashiu, 16.V.1952, M. Sasakawa (採集 笹川満廣)

イヌツゲハモグリバエ *Phytomyza jucunda* Frost & Sasakawa, 1954

Holotype ♂, Allotype ♀, Ashiu, 6.V. 1952, Ashiu,

Paratype 1 ♂, Ashiu, 6.V. 1952, 1 ♀, Ashiu, 7.V.1952, M. Sasakawa (採集 笹川満廣)

タマバエ科

ブナホソトガリタマバエ *Phegomyia tokunagai* Sasakawa et Koyama, 1953

Syntypes 1 ♂, 1 ♀, Ashiu, 28.IV.-15.V.1951, M.Koyama 芦生で虫えい採集羽化

ブナハスジトガリタマバエ *Mikiola bicornis* Sato & Yukawa, 2008

Holotype ♂, Ashiu, 9.IX.2005, S. Sato, 芦生で虫えい採集, Para type 1 ♂, Ashiu, 9.IX. 2005, S.Sato

シマバエ科

Homoneura (Homoneura) hymenophallus Sasakawa et Ikeuchi, 1982

Holotype ♂, Ashiu, 5.VI.1977, O. Morihira, Paratypes 2 ♂, 1 ♀, Ashiu, 4-6.VI.1977, O.Morihara

ダニ目

ササラダニ亜目

アシウタマゴダニ (アシウツヤタマゴダニ) *Liacarus latilamellatus* Kaneko & Aoki, 1982

Holotype, Ashiu, 19.VI.1981, N. Kaneko (採集 金子信博), 2 Paratypes, Ashiu, 1.V.1981& 28.VIII. 1981, N. Kaneo (採集 金子信博)

キレコミリキシダニ *Ceratoppia incisa* Kaneko & Aoki, 1982

Holotype, Ashiu, 9.VI.1982, 7 Paratypes, Ashiu, 28.VIII.1981, 30.IX.1981, 24.IV.1982, 28.V.1982 (2 exs.), 9.VI. 1982 (2 exs.), N. Kaneko (採集 金子信博)

まとめ

植物ではアシウスギ, アシウテンナンショウ, アシウアザミだけであろうが, キノコでは1種, 動物ではクモ類16種, 甲殻類2種, 昆虫類では膜翅(ハチ)目ハバチ科1種, 鞘翅(甲虫)目コメツキムシ科11種, ホソカタムシ科1種, カミキリムシ科2種, ハナノミ科1種, ベニボタル科1種, ホタル科1種, ジョウカイボン科2種, ツツキノコムシ科3種, ハネカクシ科1種, キクイムシ2種, 双翅(ハエ)目ユスリカ科1種, クチキバエ科2種, ハモグリバエ科2種, タマバエ科1種, シマバエ科1種, ダニ目2種などがある。

ともかく, 一地点で58種もの新種が記録されているところなどないであろう。京都大学付属研究林として研

究者によく利用・調査されたということとともに, 豊かな自然が残されていたということであろう。逆に, さらにその価値が認められ, 高められたとっていいであろう。しかし, これ以外にも, 芦生から新種として記載されたものがあるのではと思っている。遺漏があれば, ご教示をお願いしたい。

謝辞

芦生からの新種記載論文の検索には下記の方々にご教示をいただいた。厚くお礼申し上げる。石井 実(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科), 岩田隆太郎(日本大学生物資源科学部), 伊藤ふくお(日本直翅目学会), 加藤 真(京都大学大学院人間・環境学研究科), 岸井 尚(日本鞘翅目学会), 水野弘造(日本鞘翅目学会), 村田源, 永益英敏(京都大学総合博物館), 内藤親彦(神戸大学名誉教授), 大石久志(双翅類談話会), 大島一正(京都府立大学大学院), 初宿成彦(大阪市立自然史博物館), 山崎理正(京都大学フィールド科学教育研究センター)。

また, 審査者からきわめて的確なコメントをいただき, より利用しやすい資料になった。記してお礼申し上げる。

新種記載論文掲載誌(記載者名, 記載誌)

Aoki, J.: Revised status of a colydiid species known as "*Lasconotus niponius* (Lewis)" (Coleoptera, Zopheridae) [いわゆるヒメナガセスジホソカタムシ *Lasconotus niponius* (Lewis) の2種への分割 (コウチュウ目アトコブゴミムシダマシ科)]. Elytra, Tokyo, New Series 1 (1), 97-102 (2011)

Frost, S.W. & M. Sasakawa: New Agromyzidae from Japan. II (Diptera). Mushi 27 (7), 49-52 (1954)

Hongo, T.: Notulae Mycologicae (3) [菌類記 (3)]. Mem. Fac. Lib. Arts Educ. Shiga Univ., Nat. Sci. 14, 43-47 (1964) [滋賀大学学芸学部紀要 自然科学]

Kaneko, N. & J. Aoki: Two new oribatid mites from Ashiu Experimental Forest of Kyoto University [京都大学芦生研究林から得られたササラダニ類の2新種]. Edaphologia 27, 15-22 (1982)

Katayama, Y. & T. Ito: Two new species of the genus *Lordithon* (Coleoptera: Staphylinidae: Tachyporinae) from Japan [日本産キノコハネカクシ属の2新種]. Ent. Rev. Japan 65 (2), 293-298 (2010) [昆蟲学評論]

Kishii, T.: Elateridae of Kyoto and its adjacent regions. Bio. Lab. Heian High Sch. 54pp (1966)

Kishii, T.: Some new forms of Elateridae in Japan (IX) [日本産叩頭虫科甲虫類の研究]. Annl. Rep. Priv. Schs. Kyoto Pref. 14, 7-19 (1976) [京都府私学研究論集]

Kishii, T.: A study of *Ampedus (Ampedus) ivanovi* (Jakobson, 1913) and its allied species from Japan, with descriptions of some new taxa (Some new forms of Elateridae in Japan,

- XXI). Bull. Heian High Sch. 32, 11-22 (1988) [平安学園研究論集]
- Kishii, T.: Notes on Elateridae from Japan and its adjacent area (11). Bull. Heian High Sch. 36, 1-30 (1992) [平安学園研究論集]
- Kishii, T.: Notes on Elateridae from Japan and its adjacent area (16). Bull. Heian High Sch. 41, 1-28 (1998) [平安学園研究論集]
- Kishii, T.: Revision of the genus *Scutellathous* from Japan, with descriptions of two new species and taxonomic notes on its relatives (Elateridae, Coleoptera) – Some new forms of Elateridae in Japan (XXIX) [*Scutellathous* 属の再検討]. Spec. Publ. Japan Coleopt. Soc. Osaka 1, 205-214 (2001) [Sukunahikona]
- Kishii, T.: On the Elaterid-beetles from Yamaguchi Prefecture, collected by Mr. Kaoru Tanaka, with the descriptions of six new taxa [田中馨氏蒐集の山口県のコメツキムシ]. Bull. Yamaguchi Mus. 30, 105-143 (2004) [山口県立山口博物館研究報告]
- Kuboki, M.: Study on the Lepturine genus *Pidonina* Mulsant (Coleoptera, Cerambycidae), I. Kontyû, Tokyo 49 (4), 525-541 (1981)
- Murayama, J.: A new genus and some new species of Scolytidae from Japan (Coleoptera). Trans. Shikoku Entomol. Soc. 1 (4), 49-53 (1950)
- Murayama, J.: Scolytid fauna of the northern half of Honshu with a distribution table of all of the scolytid species described from Japan. Bull. Fac. Agr. Yamaguchi Univ. 5, 149-212 (1954)
- Nakai, T.: Notulae ad Plantas Japoniae & Koreae XLVI. Bot. Mag. Tokyo 49, 417-424 (1935) [植物学雑誌] 中井猛之進: 植物ヲ学ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ. 植物研究雑誌 17 (5), 273-283 (1941)
- Nakane, T. & K. Ohbayashi: Description of a new species of the genus *Calochromus* from Japan (Coleoptera: Lycidae) [日本産 *Calochromus* 属ベニボタルの1新種]. Akitu, 4 (2), 29-30 (1955) [あきつ]
- Nobuchi, A.: Studies on the ciid-beetles from Japan. (I) With the descriptions of a new genus and some new species. Ent. Rev. Japan 6 (7), 53-58 (1955) [昆蟲学評論]
- Nobuchi, A.: Two new species of ciid-beetles. Ent. Rev. Japan 10 (2), 51-52 (1959) [昆蟲学評論]
- Nunomura, N.: *Ligidium paulum*, a new terrestrial isopod from Ashû, Kyoto Prefecture, Japan [京都府芦生から発見されたヒメフナムシの一新種]. Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. 30, 1-4 (1976) [大阪市立自然史博物館研究報告]
- Nunomura, N.: A new species of the genus *Lucasioides* (Crustacea: Isopoda) from Ashiu, Miyama, Nantan-shi, Kyoto, Central Japan [京都大学芦生研究 林から発見されたハヤシワラジムの1新種]. Bull. Toyama Sci. Mus. 33, 39-45 (2010) [富山市科学博物館研究報告]
- Oi, R.: Linyphiid spiders of Japan. J. Inst. Polytech. Osaka City Univ., Ser. D, Biol. 11, 137-244 (1960)
- Okushima, Y. & S. Imasaka: Three new species of the genus *Athemus* (Coleoptera, Cantharidae) from Japan. Elytra, Tokyo 28 (2), 373-385 (2000)
- Sasakawa, M.: New and unrecorded Agromyzidae (Diptera) from Japan IV. Kontyû, Tokyo 20 (3/4), 55-61 (1954)
- Sasakawa, M.: A new species of Clusiidae from Japan (Diptera) [日本産クチキバエ科 (新称) の1新種]. Akitu 6 (3), 63-64 (1957) [あきつ]
- Sasakawa, M.: Descriptions of two new species of Clusiidae from Japan (Diptera) [日本産クチキバエ科の2新種の記載]. Akitu 12 (2), 13-16 (1964) [あきつ]
- Sasakawa, M. & S. Ikeuchi: A revision of the Japanese species of *Homoneura* (*Homoneura*) (Diptera, Lauxaniidae) Part 1. Kontyû, Tokyo 50 (3), 477-499 (1982)
- Sasakawa, M. & M. Koyama: Galls found on *Fagus crenata* Blume, with description of a new species (Dipt., Cecidomyiidae). Scient. Rep. Saikyo Univ., Agric. 4, 4-8 (1953) [西京大学学術報告 農学]
- Satô, M.: New Cantharoidea from Japan, II (Coleoptera). Trans. Shikoku Ent. Soc. 17 (4), 255-261 (1986) [四国昆虫学会会報]
- Sato, S. and J. Yukawa: Descriptions of two new *Mikiola* species (Diptera: Cecidomyiidae) that induce leaf galls on *Fagus crenata* (Fagaceae) in Japan. Studia dipterologica 15, 151-164 (2008)
- Shiyake, S.: Redescription of *Falsomordellistena auromaculata* (Kôno) with description of an allied new species from Japan (Coleoptera: Mordellidae) [カタビロヒメハナノミの再記載と近縁な1新種について (鞘翅目: ハナノミ科)]. Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. 50, 9-15 (1996) [大阪市立自然史博物館研究報告]
- Takahashi, K. & I. Kiriya: Eighteen new species and two new subspecies of the genus *Podabrus* (Cantharidae, Coleoptera) mainly from Gifu Prefecture, central Honshu, Japan. Jpn. J. Syst. Ent. 6 (1), 121-146 (2000) [日本昆虫分類学会会報]
- Takeuchi, K.: A systematic study on the suborder Symphyta (Hymenoptera) of the Japanese Empire (IV). Tenthredo 3 (3), 230-274 (1941)
- Tokunaga, M.: Chironomidae from Japan (Diptera), IX Tanypodinae and Diamesinae. Philipp. J. Sci. 62 (1), 21-65 (1937)
- Toyoshima, R. & R. Iwata: A new species of the genus *Asaperda* (Coleoptera, Cerambycidae, Lamiinae) from Japan. Ent. Rev. Japan 45 (1), 1-5 (1990) [昆蟲学評論]
- Yokoyama, S., M. Yamashita & T. Shimizu: Taxonomic studies on the genus *Cirsium* (Compositae) in the Hokuriku district and its adjacent areas (2) *Cirsium ashiuense* – a new species from Ashiu, Kyoto Prefecture [北陸地方およびその近隣地域のアザミ属植物の分類学的研究 (2) アシウアザミ – 京都府芦生産の一新種]. J. Phytogeogr. Taxon. 44 (1/2), 19-24 (1996) [植物地理・分類研究]

参考文献

- 福嶋 司 (2005) いつまでも残しておきたい日本の森 287pp. リヨン社, 東京.
- 広瀬慎也 (1999) 芦生の森 39 pp, 遊人工房, 東京.
- 広瀬慎也 (2002) 芦生の森 2 遊人工房, 東京.
- 広瀬慎也 (2008) 由良川源流の森 芦生風刻 82 pp, 光村推古

- 書院, 東京.
- 池内 紀 (2001) 日本の森を歩く 277 pp, 山と溪谷社, 東京.
- 今西錦司・井上靖 (監修) (1987) 日本の湖沼と溪谷 10 近畿 175pp. (渡辺弘之: 由良川源流域の原生林 芦生) 69-72 ぎょうせい.
- 石橋睦美 (1995) 日本の森あんない 西日本編 134 pp, 淡交社, 京都.
- 石井 実・藤山静雄・星川和夫 (編) (2000) 昆虫類の多様性 保護のための重要地域 第2集 日本昆虫学会自然保護委員会. 106 pp.
- 金久昌業 (1970, 1974) 京都北山 昭文堂.
- 桂 俊夫 (1998) : 京・北山四季賛歌 134 pp, 求龍社., 東京.
- 北本廣次 (1998) 樹木彩時季 47 pp, Bee Books, 47pp.
- 草川啓三 (2000) 芦生の森を歩く 135pp. 青山舎, 大津
- 草川啓三 (2008) 芦生の森に会いにゆく 95 pp, 青山舎. 大津.
- 京都府 (1999) 京都の自然 200 選 127pp. 京都府.
- 京都府 (2002) 京都府レッドデータブック 上・下 上 935pp. 下 471 pp. 京都府.
- 毎日新聞社 (編) (1961) 日本の秘境 209pp, 秋元書房, 東京.
- 森本次男 (1938) 京都北山と丹波高原 212pp. 朋文堂. 東京.
- 森本次男 (1965) 京都北山と丹波高原 143 pp, 山と溪谷社, 東京.
- 日本交通公社 (1967) 全国秘境ガイド 257 pp, 日本交通公社, 東京.
- 日本の森制作委員会 (編) (2002) 日本の森ガイド 50 選 223 pp, 山と溪谷社, 東京..
- 岡本省吾 (1940) 芦生演習林樹木誌 京都大学演習林報告 13
- 住友山岳会 (1941) 近畿の山と谷 50-8pp. 朋文堂
- 竹内 敬 (1962) 京都府植物誌 157pp. 大本
- 谷口正一 (2004) DVD 芦生原生林 MORIYUME (2004).
- 渡辺弘之 (1970) 京都の秘境 芦生 197 pp, ナカニシヤ出版, 京都..
- 渡辺弘之 (2008) 由良川源流芦生原生林生物誌 168 pp, ナカニシヤ出版, 京都..
- Yasuda, S. & H. Nagamasu (1995) Flora of Ashiu, Japan. Contributions from the Biological Laboratory, Kyoto University. 28, 4, 367-486 (1995)
- 山本卓蔵: (2002) 芦生の森 48pp. 東方出版
- 全国大学演習林協議会 (編) (1996) 森へゆこう 大学の森のいざない 169pp. 丸善ブックス, 東京.